

教育民生 常任委員会

本会議より教育民生常任委員に付託された議案は、条例関係1件、補正予算関係4件、その他4件と、継続審査となつている請願1件である。

議案第127号 平成23年度仙北市 一般会計補正予算 について

●3款 民生費

問 障害者の就労支援は仙北市にとつても大きな課題であり、積極的に行わなければならないと考へる。今回の障害者の職場づくり推進事業では、障害者へのアンケートを実施するということであるが具体的にどのようなアンケートなのか。

答 アンケート調査は、就労に関する内容について予定している。主な項

目は、就業している場合はどういう仕事なのか、給与の額など。就業していない場合は、希望する仕事、就職に結び付かない理由等である。

現段階では事務局案であり、今後、障害者の職場づくり推進委員会で協議して頂き、アンケートをとりまとめ、就労支援に結び付けたいと考えている。

問 対象となる市内の障害者の方々は、どれくらいいるのか。更に障害者と同様に難病を抱え、苦しんでいる方々は、どれくらいいるのか。

答 市内で障害手帳を持つている方は、精神障害、身体障害を合わせて2,001人、難病に位置づけられる方は198人である。

問 暮らしの安心サポート推進事業については、除雪や草刈り、見守り隊の各支援事業を県の100%補助で実施するとの事だが、具体的な事業内容は。

答 合併前の旧町村単位で申請する事業である。1地区の限度額が

300万円では仙北市の場合は2町1村だったので900万円の限度額である。

申請にあたり各地区の自治会や町内会の要望を聞いて予算計上したものである。除雪や草刈り支援等の機材は、各地域センターで管理し貸し出し要綱を作成し、各地域、団体等に貸し出す方向で進めている。

●4款 衛生費

問 環境保全センターの大規模改修工事は3年計画の最終年であるが、来年度以降もメンテナンスは必要と思われる。ごみ処理施設は専門的な部分も多く、運営にも多額の費用が掛かる。適正な運営であるか検討する必要があるか。

答 環境保全センターは、特別なプラントであるので専門性が非常に高い。今後の管理運営や計画的なメンテナンスが当然必要であり、そういう部分を専門的な技術や知識のあるところにチェックをしていただくシステムを立ち上げる必要がある。

と考へている。来年度中に、この作業を実施して、それ以降の管理運営やメンテナンスを計画的に実施できる有効な仕組みを作りたく考へている。

●10款 教育費
問 福島っ子と秋田っ子の冬期交流事業は、どのような交流内容を予定しているのか。

鈴木内の紙風船上げでは鈴木内中学校と、角館の火振りかまくらでは角館小学校と、田沢湖高原まつりでは市内中学校のクロスカントリーのスキー部員と、また剣道部の子供達との交流も予定している。

受け入れ体制が整う学校や各団体等と連絡調整を図り進めたいと考へている。

●賛成討論

障害者の職場づくり推進事業で、アンケート結果を踏まえて、より一層の障害者や難病の方々の就労支援を含め政策の強化を要望して賛成する。

●継続審査

請願第1号家庭用LED照明購入費補助事業について

対象データの更なる比較検討が必要のため継続審査と決定。

◎採決の結果

全議案、全会一致で原案を可と決定した。

(佐藤(直) 記)



福島っ子との冬期交流事業の白岩城址燈火祭